

石棺系装飾古墳について一考察

装飾古墳館 坂口 圭太郎・村上 光治・菊川 知美

1 はじめに

石棺系装飾古墳は、装飾古墳の一つとして分類されている。最も古いとされる石棺系装飾古墳は4世紀末頃に発生したと考えられている。その特徴は、石棺に直弧文や円文などの装飾を浮き彫りまたは線刻で表現したものである。

大正時代に京都帝国大学による装飾古墳の調査により全国で知られるようになった装飾古墳は、その発生について議論がなされている。ここではその発生について言及しないが、全国に700基余りが確認されている装飾古墳の中でも、この石棺系装飾古墳については、早い段階(4世紀末)で出現しているが、6世紀に入るといくつかの例を残し減じていく。

今回は、平成28年に研究紀要第14集で報告した全国の装飾古墳一覧(中間報告)以降に調査収集したデータを見直す中で、石棺系装飾古墳についてまとめるものである。

2 石棺系装飾古墳の起源

日本における石棺系装飾古墳の初源は大阪府柏原市にある安福寺境内石棺^{写真①}(伝玉手山3号墳)^{※1}であるとされる。4世紀末に比定されるこの石棺は、棺蓋の側面周囲を直弧文で装飾している。

3 石棺系装飾古墳の分類

石棺系装飾古墳の定義については前節で述べているが、ここではそのなかを更に分類する。まず、埋葬形態は石棺直葬と竪穴式あるいは横穴式石室に納棺する2種類に分ける。この理由は、古墳が造られた時期に大きく影響されると考える。石棺直葬は古い埋葬形態である。一方で竪穴式石室や横穴式石室に納棺するものは追葬が可能な葬送であることから、装飾自体が追刻の可能性は否定できない。

次に装飾の部位による分類である。石棺の蓋あるいは身の外面に装飾が施されるものと蓋の裏面や石棺の内側(内面に装飾が施されるもの)に分類できる。この両者には大きな相違がある。棺の外面は、埋葬後も視認されることを意識していると考えられ、棺の内面は、被葬者(死者)に向けてのものと考えられる。

このように、一概に石棺系装飾古墳といつても、装飾文様や位置により、その意味が異なると考えられる。を想定したうえで、あらためて石棺系装飾古墳の分類を検討する。

4 石棺系装飾古墳の時代的変遷と伝播

装飾古墳の初源のひとつにこの石棺系装飾古墳があるとする説は一般的である。八代海沿岸部の箱式石棺に装飾が登場するのは5世紀に入ってからであり、初期の石棺系装飾古墳は4世紀末には登場していると考えられている。その中で4世紀後半の安福寺境内石棺^{※1}がある。この石棺は上蓋の側面を廻るように直弧文を線刻している。吉備の源流をもつとされるこの直弧文を装飾していることが特徴である。この他に4基の石棺系装飾古墳があり、いずれも福井県内にあり、近畿から福井に至る流れがあることは明確である。その中でも福井市にある小山谷古墳の船形石棺蓋の上面の両側に鏡と考えられる円文が8個宣告されていることに注目したい。



写真①安福寺境内石棺(伝玉手山3号墳)



図1 棺蓋外に装飾をもつ



図2 棺蓋内に装飾をもつ

次に5世紀の前半から中ごろにかけて、北部九州や北陸において石棺系装飾古墳が造られる。八代海沿岸部においても、5世紀の前半には箱式石棺の内面に円文や武具類などを描いた石棺系装飾古墳が登場する。熊本県上天草市大矢野町の広浦古墳や八代市大鼠藏東麓1号墳などである。広浦古墳では鏡を模した円文の他に大刀などが、また大鼠藏東麓1号墳では同心円文とともに大刀、弓、鞬(ゆぎ)、短甲などが浮彫で表現されている。これらは死者をおさめる箱式石棺の内部に装飾を描いており、先にあげた石棺の上蓋など外面に装飾を施した意味とは全く異なる考えである。このように棺身の内面に描かれる意味は副葬品と考えられる。この系譜は同じく八代海沿岸部の竹ノ内古墳石棺などに引き継がれていく。

一方で5世紀中に造られたとされる福岡県八女郡広川町の石人山古墳^{写真②}では横穴式石室に家型石棺を納めており、その上蓋に直弧文と同心円文を浮彫で装飾している。これらは安福寺境内石棺の系譜を引き継いだものと考えられ、熊本県川町の大王山古墳などがそれに続く。

5世紀の後半に入ると福岡県や佐賀県、熊本県では県北部において石棺系装飾古墳が造られるようになる。熊本県宇城市不知火ある鴨籠古墳では家形石棺の上蓋に直弧文や円文、連続三角文などを浮彫で表現しており、類例としては、島根県松江市丹花庵古墳^{写真③}の長持形石棺などがある。

九州以外では、岡山県備前市鶴山丸山古墳において竪穴式石郭に長持形石棺を埋納しており、その棺蓋の両側に3つの家屋文の間にそれぞれ2個ずつの円文を装飾している。類例として4世紀末とやや時代をさかのぼって福井市的小山谷古墳がある。

6世紀にはいると安福寺境内石棺の系譜は減少していく。また八代海沿岸部で発生した箱式石棺の内面に装飾を描く石棺系装飾古墳は、石棺系から石障系へと埋葬施設の形態変化により消失していくと考えられる。

熊本県では山鹿市や八代市などで石棺系装飾古墳がわずかに残っていくが、そのほかの地域でも散発的に作られているに過ぎない。その中でも注目されるのが、奈良県御所市の水泥南古墳である。横穴式室に納められた家形石棺の縄掛け状突起に線刻された鋸歯文は「破邪」を意識して描かれたものと考えられ、安福寺境内石棺の系譜が続いていることを裏付ける例と考えられる。

5 石棺系装飾古墳の分類とその系譜

4章で石棺系装飾古墳の系譜について述べた点を整理する。まず石棺系装飾古墳の初源として畿内で作られた安福寺境内石棺に代表される石棺の上蓋など外面に装飾を施すものがある。次に八代海沿岸部で造られた箱式石棺の内面に装飾を施すものの二つに分類される。このうち前者については、北陸地方や北部九州にその系譜をたどることができる。一方、八代海沿岸部で始まった石棺系装飾古墳は、その埋葬形態が石棺から石障系横穴式石室へと変化することにより消失していく。

このように石棺系装飾古墳は、その発生する地域と形態により、装飾を施す意味が異なる装飾古墳である。その意味でもこの石棺系装飾古墳の造られた場所や世紀を検討することは、装飾古墳を考えるうえで非常に重要な意味を持つ。

次章では装飾の部位とそこに込められた意味について述べたい。



写真②石人山古墳石棺 棺蓋



写真③丹下庵古墳石棺 棺蓋



図3 棺身外に装飾をもつ

6まとめ

装飾古墳館では開館以来装飾古墳の調査研究を続けてきている。平成7年の【全国の装飾古墳1】宮崎県の装飾古墳地下式と横穴墓を皮切りに、全国の装飾古墳の企画展を開催してきた。これらの企画展に伴う調査研究に加え平成29年度に各県に照会をかけ、全国の装飾古墳一覧(中間報告)をまとめてきた。それらの基礎資料を再考する中で石棺系装飾古墳について、もう一度新たな視点で考察する必要が生じてきた。その結果を表①にまとめてみた。

その結果、石棺系装飾古墳と分類できるものが43基ある。その多くは熊本県であるが、近畿や中国、北陸に見ることができる。また図1から4にかけて石棺に施された装飾の位置を地図に落とし込んでみた。

この結果から、棺身内に装飾をもつものは、九州の熊本に集中して存在すること、棺身外は佐賀県、福井県でのみ存在すること、棺蓋外は大阪府、奈良県、福井県、愛知県、福岡県、熊本県、佐賀県、大分県に及ぶ。棺蓋内に装飾を持つものは熊本県で2例のみである。

以上、石棺系装飾古墳の概要と装飾する部位の分布についてまとめてみた。今後の調査研究により更なる装飾古墳の謎を解明する一助となることを期待して考察を終わることとする。



図4 棺身内に装飾をもつ

表① 石棺系装飾古墳一覧

No.	都道府県名	コード	墓内号	名前	読み仮名	コード	所在地①	所在地②	時期	墳丘(歩)	埋葬施設	石棺施設	蓋部位	蓋部位	蓋部位	蓋部位	蓋部位	蓋部位	蓋部方法	推定	指定登録日	参考(指定日等)	記入欄	
1	福井県	18	1	小山古墳	こやまに	福井県	小山古墳	4m	不詳	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	同心円		東京国立博物館	132	
2	福井県	18	2	山古墳	さんじょ	福井県	足羽山古墳	4m	不詳	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	平行四辺形		福井県立歴史博物館	134	
3	福井県	18	3	曾我古墳	しのが	福井県	曾我古墳	5m	不詳	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	平行四辺形		福井県立歴史博物館	135	
4	福井県	18	4	高田古墳	たかだ	福井県	高田古墳	5m	不詳	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	平行四辺形		福井県立歴史博物館	136	
5	福井県	18	5	中ノ東古墳	なかのひが	福井県	中ノ東古墳	4m	不詳	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	同心円		福井県立歴史博物館	137	
6	愛知県	23	1	天理古墳	てんり	天理市	天理古墳	4m	不詳	円	石棺直葬	家形石棺	上蓋(舟形)	縫糸綴					縫糸	平行四辺形+舟形		天理市史跡資料館	140	
7	大分県	27	24	安曇守石村(宮中半山古墳)	あんてんごく	柏原市	-	4m	不詳	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	平行四辺形+舟形		大分市史跡資料館	177	
8	奈良県	29	1	木泥古墳	きのづ	御所市	-	6m(8m~10m)	円	横穴式石室	家形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		奈良県立博物館	182	
9	奈良県	29	2	内泥古墳	うちのづ	御所市	-	5m	円	横穴式石室	家形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		奈良県立博物館	184	
10	奈良県	29	3	大内古墳	おおうち	御所市	-	5m	円	横穴式石室	家形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		奈良県立博物館	214	
11	福岡県	32	2	長田古墳	ながた	久留米市	-	5m	円	横穴式石室	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		福岡県立博物館	235	
12	福岡県	32	7	湊古墳	みな	久留米市	-	5m	円	横穴式石室	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		福岡県立博物館	236	
13	佐賀県	41	5	西原古墳	にしはら	佐賀市	-	4m	円	横穴式石室	家形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		佐賀県立博物館	285	
14	佐賀県	41	6	西野古墳	にしの	佐賀市	-	5m	円	横穴式石室	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		佐賀県立博物館	381	
15	熊本県	43	7	大原古墳	おおはら	2007年名古屋市	2007年名古屋市	5m?	平成7年	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	425	
16	熊本県	43	8	大原古墳	おおはら	2008年名古屋市	2008年名古屋市	5m?	平成7年	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	427	
17	熊本県	43	9	大原古墳	おおはら	2009年名古屋市	2009年名古屋市	5m?	平成7年	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	430	
18	熊本県	43	10	大原古墳	おおはら	2010年名古屋市	2010年名古屋市	5m?	平成7年	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	434	
19	熊本県	43	11	大原古墳	おおはら	2011年名古屋市	2011年名古屋市	5m?	平成7年	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	435	
20	熊本県	43	12	大原古墳	おおはら	2012年名古屋市	2012年名古屋市	5m?	平成7年	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	436	
21	熊本県	43	13	石之庄古墳	いのしょう	2013年名古屋市	2013年名古屋市	5m?	平成7年	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	437	
22	熊本県	43	14	石之庄古墳	いのしょう	2014年名古屋市	2014年名古屋市	5m?	平成7年	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	438	
23	熊本県	43	15	石之庄古墳	いのしょう	2015年名古屋市	2015年名古屋市	5m?	平成7年	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	439	
24	熊本県	43	16	石之庄古墳	いのしょう	2016年名古屋市	2016年名古屋市	5m?	平成7年	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	440	
25	熊本県	43	17	石之庄古墳	いのしょう	2017年名古屋市	2017年名古屋市	5m?	平成7年	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	441	
26	熊本県	43	18	石之庄古墳	いのしょう	2018年名古屋市	2018年名古屋市	5m?	平成7年	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	442	
27	熊本県	43	19	大原古墳	おおはら	2019年名古屋市	2019年名古屋市	5m?	平成7年	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	474	
28	熊本県	43	20	大野古墳	おおの	4850年大野古墳	大野古墳	5m?	大野古墳	5m?	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	475
29	熊本県	43	21	大野古墳	おおの	4850年大野古墳	大野古墳	5m?	大野古墳	5m?	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	476
30	熊本県	43	22	大野古墳	おおの	4850年大野古墳	大野古墳	5m?	大野古墳	5m?	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	477
31	熊本県	43	23	大野古墳	おおの	4850年大野古墳	大野古墳	5m?	大野古墳	5m?	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	478
32	熊本県	43	24	大野古墳	おおの	4850年大野古墳	大野古墳	5m?	大野古墳	5m?	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	479
33	熊本県	43	25	大野古墳	おおの	4850年大野古墳	大野古墳	5m?	大野古墳	5m?	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	480
34	熊本県	43	26	大野古墳	おおの	4850年大野古墳	大野古墳	5m?	大野古墳	5m?	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	481
35	熊本県	43	27	大野古墳	おおの	4850年大野古墳	大野古墳	5m?	大野古墳	5m?	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	482
36	熊本県	43	28	大野古墳	おおの	4850年大野古墳	大野古墳	5m?	大野古墳	5m?	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	483
37	熊本県	43	29	大野古墳	おおの	4850年大野古墳	大野古墳	5m?	大野古墳	5m?	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	484
38	熊本県	43	30	大野古墳	おおの	4850年大野古墳	大野古墳	5m?	大野古墳	5m?	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	485
39	熊本県	43	31	大野古墳	おおの	4850年大野古墳	大野古墳	5m?	大野古墳	5m?	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		熊本県立博物館	486
40	大分県	44	28	山古墳	さんじょ	臼杵市	-	5m?	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		福岡県立博物館	476		
41	大分県	44	29	下山古墳	しもやま	臼杵市	-	5m?	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		福岡県立博物館	477		
42	大分県	44	30	大野古墳	おおの	臼杵市	-	5m?	石棺直葬	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織		福岡県立博物館	478		
※①	奈良県	32	1	内宮外石室	ひのみやのうち	奈良市	-	7m?	石室	横穴式石室	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織	人物	平安神宮	263	
※②	奈良県	32	2	内宮外石室	ひのみやのうち	松江市	-	6m(6m~7m)	石室	横穴式石室	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織	人物	平安神宮	263	
※③	奈良県	32	3	内宮外石室	ひのみやのうち	松江市	-	6m(6m~7m)	石室	横穴式石室	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織	人物	平安神宮	263	
※④	奈良県	32	4	内宮外石室	ひのみやのうち	松江市	-	6m(6m~7m)	石室	横穴式石室	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織	人物	平安神宮	263	
※⑤	奈良県	32	5	内宮外石室	ひのみやのうち	松江市	-	6m(6m~7m)	石室	横穴式石室	舟形石棺	縫糸綴							縫糸	縫織	人物	平安神宮	263	

参考文献

濱田耕作ほか 1917『肥後に於ける装飾ある古墳』,京都帝国大学

濱田耕作ほか 1919『九州に於ける装飾ある古墳』,京都帝国大学

斎藤忠 1952『装飾古墳の研究』,吉川弘文館

斎藤忠 1973『日本装飾古墳の研究』,講談社

斎藤忠 1989『壁画古墳の系譜』日本考古学研究2』,学生社

小林行雄 1956『日本古墳文化の美術』『世界美術全集 古代初期2』,平凡社

小林行雄 1964『装飾古墳』,平凡社

坪井清足 1977『日本原始美術大系6』,講談社

森貞次郎 1985『装飾古墳』,教育社

小田富士雄 1966 「古墳文化の地域的特色－九州」『日本の考古学IV』,河出書房新社

小田富士雄 1974 「図形文様の種類とその意義」『古代史発掘8』,講談社

藤井功・石山勲 1979 『装飾古墳 日本の原始美術10』,講談社

埋蔵文化財研究会 2002 『装飾古墳の展開』,埋蔵文化財研究会

柳沢一男 2022 『装飾古墳ガイドブック』,新泉社

福田匡朗 2017 「福井市・免鳥長山古墳出土石棺の意義」熊本県立装飾古墳館 平成29年度企画展図録

坂口圭太郎 2017 『ヲホド大王と越の国の装飾古墳』熊本県立装飾古墳館 平成29年度企画展図録

坂口圭太郎 1996 『大分県の装飾古墳』熊本県立装飾古墳館平成8年度企画展図録